

市の取組について

1. 坂出市の脱炭素化に向けた取組について

1. 坂出市の脱炭素化に向けた取組について

■「ゼロカーボンシティ」宣言

坂出市「ゼロカーボンシティ」宣言

地球温暖化対策は、私たち一人一人にとって避けることのできない喫緊の課題であります。世界各地で、地球温暖化による異常気象や自然災害が発生しており、国内においても、各所で甚大な被害を及ぼしている昨今の豪雨等水害の事例は記憶に新しいところであり、二酸化炭素等の温室効果ガスの増加により、今後もこのような水害等のさらなる頻発化や激甚化などが予測されています。こうした事態は、私たち人類やすべての生き物にとって生存基盤を揺るがしかねません。

このような状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するために「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されています。

また、政府は、昨年12月に「2050年カーボンニュートラルに向けたグリーン戦略」を含む実行計画を取りまとめ、「脱炭素社会の実現に向け、国と地方で総力を挙げて取り組んでいく」と、その取り組み姿勢を強く示しているところでです。

本市としては、地球温暖化対策は緊急課題であると捉え、地球環境に配慮した持続可能なまちづくりを一層進め、次世代に「活力と魅力あるふるさと坂出」を引き継いでいくため、「2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民や事業者の皆様と連携しながら、地域全体で温室効果ガス排出量の削減対策を積極的に取り組むことを宣言します。

令和3年9月8日

坂出市長 有福 哲二



産業部門（港湾関係）に重点をおいた エネルギー転換等に関する施策

坂出港カーボンニュートラルポート(CNP) 形成計画

カーボンニュートラルを念頭に置いた坂出港の港湾・産業立地競争力強化に向けた形成計画

策定・検討内容

- 火力発電所における低・脱炭素化の取組の検討
- バイオマス発電によるCO2排出削減の推進
- 船舶における低・脱炭素化の検討
- 荷役機械、トラック等の低炭素化・燃料電池化と水素ステーション、水素発電設備等の整備に関する検討
- 水素・アンモニア等のサプライチェーンに係る検討
- 港湾工事の低・脱炭素化・ブルーカーボン等に係る検討



坂出市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

市域全体に対する再エネ導入にかかる施策

坂出市再生可能エネルギー導入推進計画

坂出市域全体で、中長期的に脱炭素化を図る「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた、温室効果ガスの排出削減および再生可能エネルギー利活用の最大化に向けた推進計画

策定・検討内容

- 市域全体における温室効果ガス排出量の現状把握（公共施設含）
- 再生可能エネルギーの導入状況の把握および再生可能エネルギーポテンシャルの調査
- 再生可能エネルギー導入目標およびその実現に向けた基本方針の策定
- 市域全体の脱炭素実現に向けたロードマップの策定

